

# 第56回 日本弁護士連合会 人権擁護大会プレシンポジウム

## 区域外避難者は今

### 放射能汚染に安全の境はありますか —低線量被曝被害による分断の構造—

今、原発問題は、「収束」に向かっていると思われています。

しかし、福島県内をはじめ同県周辺地域の方たちは、今なお、そのまま従前の居住地にとどまるのであれ、避難するのであれ、放射能汚染という深刻な問題を日々突きつけられています。現在も関西には3,700名以上の方が避難されていると報告されており、「区域外であっても、戻ることはない」と決意している方も多数おられます。

本シンポジウムではそういった方々が何故そのような決断をされたのか、そして社会はその決断を理解し、支援の手を差し延べているのかについて検討するとともに、科学論争に終始しがちな低線量被曝問題を社会的視点から見つめなおそうと思います。

## Program

### プログラム 【基調講演】

(講師) 島 蘭 進氏 上智大学教授・グリーンケア研究所所長

### 【パネルディスカッション】

(パネリスト) 島 蘭 進氏 同上

除 本 理 史氏 大阪市立大学 大学院経営学研究科教授

避難当事者の方2名

(コーディネーター) 加 藤 高 志氏 大阪弁護士会 災害復興支援委員会委員

参加費  
無料

託児所  
あり

2013年8月31日(土) 13:00-16:30

大阪弁護士会館 10階1001・1002会議室

※裏面の参加申込書にてお申込みください。

主催：大阪弁護士会 共催：日本弁護士連合会

# Profile

## プロフィール

しまぞの すすむ  
**島 蘭 進 氏**

1948年生まれ。現在、上智大学教授・グリーンケア研究所所長。長年東京大学大学院教授（本年3月退官）を務める。

専門は、宗教学、死生学、応用倫理学。

主な著書に「日本人の死生観を読む」（朝日選書）、「国家神道と日本人」（岩波新書）、「スピリチュアリティの興隆」（岩波書店）などがある。

また、科学技術と倫理、科学と社会との関係についても深い洞察に基づき発言を続けている。

福島第一原発事故以後は、いわゆる「原子カムラ」の科学者が発するメッセージに対して疑問を呈し、東京大学において、緊急討論会「震災、原発、そして倫理」を開催。その時の内容をまとめた「低線量被曝のモラル」（河出書房新社）や、「つくられた放射線『安全』論」（河出書房新社）を出版し、「不安をなくすことこそ被曝地の医学者の任務という信念」や「不安をなくすために調べない、知らせないという医療倫理」を厳しく批判している。

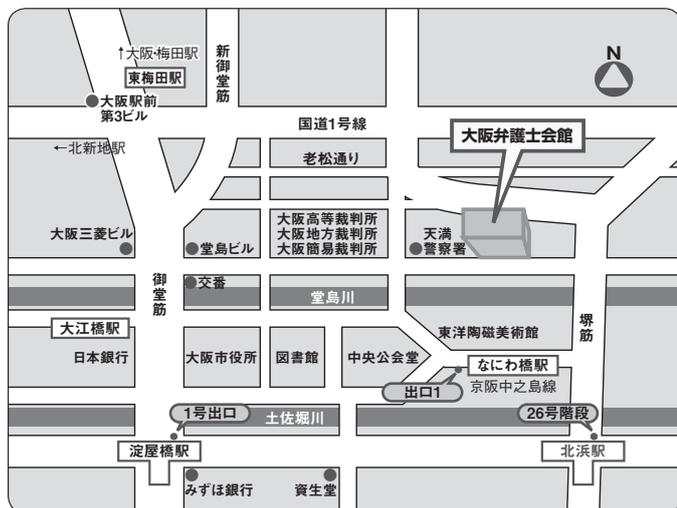
よけもと まさふみ  
**除 本 理 史 氏**

1971年生まれ。大阪市立大学大学院経営学研究科教授。専門は、環境政策論、環境経済学。

主な著書に「環境被害の回復と費用負担」（有斐閣 2007年）、「原発事故の被害と補償—フクシマと『人間の復興』」（共著、大月書店 2012年）、「西淀川公害の40年—維持可能な環境都市をめざして—」（ミネルヴァ書房 2013年）、「原発賠償を問う—曖昧な責任、翻弄される避難者—」（岩波ブックレット 2013年）などがある。

福島原子力発電所事故以来、被災地での聞き取りを行われるなど精神的に活動され、その被害回復のあり方について研究している。

## お問合せ先



# TEL 06-6364-1238

（大阪弁護士会 法律相談部相談一課）

- ※ 団体が参加される場合には、団体名、代表者氏名及び参加人数、連絡先の記入に御協力ください。
- ※ 御提供いただいた個人情報は、参加者の把握に利用します。同個人情報は、日本弁護士連合会及び大阪弁護士会で保有し、各会の個人情報保護方針に従い厳重に管理いたします。
- ※ 本プレシンポジウムに関するお問い合わせは大阪弁護士会法律相談部相談一課（TEL：06-6364-1238）まで御連絡ください。

大阪弁護士会館 〒530-0047 大阪市北区西天満1-12-5  
【交通手段】

- 京阪中之島線「なにわ橋駅」下車 出口1から徒歩約5分
- 地下鉄・京阪本線「淀屋橋駅」下車 1号出口から徒歩約10分
- 地下鉄・京阪本線「北浜駅」下車 26号階段から徒歩約7分
- JR東西線「北新地駅」下車 徒歩約15分

## 参加申込書

日本弁護士連合会人権擁護大会プレシンポジウム

# 区域外避難者は今

放射能汚染に安全の境はありますか—低線量被曝被害による分断の構造—

【日時】2013年8月31日(土)13時00分～16時30分 【会場】大阪弁護士会館 10階 1001・1002会議室

ふりがな				所属	
氏名					
TEL	( )	—	FAX	( )	—
託児所利用の有無	有	無	お子さまの年齢		歳

大阪弁護士会 法律相談部相談一課 宛

# FAX 06-6364-5069